

令和4年度 評価規準

江戸川区立篠崎中学校

| | | | |
|----|----|----|------|
| 教科 | 国語 | 学年 | 第1学年 |
|----|----|----|------|

| 単元名 | 時数 | 単元の到達目標(小単元のねらい) | 単元のまとまりの評価規準 | | |
|---------------|----|--|---|--|--|
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| わたしはふしぎでたまらない | 2 | よい姿勢や用具の持ち方で、配列よく詩を書くことができる。 | <p>【B】小学校で学習した姿勢・執筆や筆使い、字形の整え方などを理解している。字間・行間を理解して、行が曲がらないように書いている。</p> <p>【A】姿勢・執筆や筆使い、字形の整え方などを的確に捉えている。字間・行間を理解して、行が曲がらないように字形を整えて書いている。</p> | <p>【B】小学校で学習した内容を確認している。</p> <p>【A】小学校で学習した内容を確認し、自己の課題を捉えている。</p> | <p>【B】詩を書く学習をとおして、書写活動に意欲的に取り組んでいる。</p> <p>【A】詩を書く学習をとおして、書写学習に課題意識をもって、意欲的に取り組んでいる。</p> |
| ふしぎ 桜蝶 | 4 | ●文学作品の構成や展開を描写をもとに理解する。 | 事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 | 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく | すすんで文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えを確かなものにし、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。 |
| お気に入りの一品を紹介する | 3 | ●伝えたいことを明確にして、お気に入りの一品を紹介する。 | 事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 | 日常生活の中からお気に入りの一品について話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 | すすんで日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理して伝える内容を検討し、学習課題にそって伝え合おうとしている。 |
| 言葉の単位 | 1 | 文章・段落・文・文節・単語という言葉の単位について理解する。 | 単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている | | 積極的に言葉の単位について理解するとともに、見通しをもってその役割を考えようとしている。 |
| 自分の脳を知っていますか | 4 | <p>●文章の中心的な部分に着目し、内容を捉える。</p> <p>●文章の構成を捉え、要約に生かす。</p> <p>●「脳の奇妙な癖」を理解し、筆者の考えをまとめる</p> | 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している | 「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。 | 「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。 |

| | | | | | |
|--------------------|---|--|---|--|--|
| 筆使い —基本点画— | 1 | 小学校で学習した楷書の基本点画の筆使いを理解して、確認することができる。 | 【B】基本点画の筆使いや文字の組み立て方、字形の整え方を理解している。 【A】基本点画の筆使いや文字の組み立て方、字形の整え方を的確に捉えている。 | 【B】基本点画の筆使いや文字の組み立て方、字形の整え方を理解している。 【A】基本点画の筆使いや文字の組み立て方、字形の整え方を的確に捉えている。 | 【B】楷書の基本点画の筆使いや組み立て方を確認している。 【A】基本点画の筆使いや組み立て方が、漢字のどの部分にあてはまるか判断している。 |
| 日本語の音声 | 2 | 日本語の音の特徴を理解する。 | 音声のはたらきや仕組みについて、理解を深めている。 | | 積極的に音声のはたらきや仕組みを理解し、学習の見通しをもって日本語の音の特徴について理解を深めようとしている。 |
| ベンチ | 3 | 本や文章から必要な知識や情報を集めたり、それらを活用したりするための方法を身につける。 | 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 | 比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 | すすんで読書が考えを広げることに関与することを理解し、学習の見通しをもって考えたことを提案しようとしている。 |
| 内容を整理して説明する | 4 | ●写真を見るとき視点を知り、写真の特徴を理解する。 ●写真の特徴を生かし、多様な活用の仕方について考える。 | 比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 | 「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 | 粘り強く情報の整理の仕方についての理解を深めるとともに、学習課題にそって創作しようとしている。 |
| 資料から得た情報をもとに意見文を書く | 4 | ●資料を比較して共通点と相違点を見つける。 ●考えの中心を明確にして、段落構成を考える | 比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 | 書く内容の中心が明確になるように複数の資料を比較するとともに、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。 | すすんで情報の整理の仕方について理解し、学習課題にそって共通点や相違点を根拠にしながらかれたことを書こうとしている。 |
| 筆使いと字形「天地」 | 2 | 小学校で学習した楷書の基本点画の筆使いを理解して、字形に注意して書くことができる。 | 基本点画の筆使いや文字の組み立て方、字形の整え方を的確に捉えている。基本点画の筆使いや組み立て方を理解して、字形を整えて書いている。 | 楷書の基本点画の筆使いや組み立て方を確認している。 | 基本点画を把握し、その解決に向け意欲的に取り組んでいる。 |

| | | | | | |
|---------------|---|--|--|--|---|
| 漢字の広場 | 3 | 画数と活字の字体についての理解を深める。 | 学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている | 積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。 | 積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。 |
| 画数と活字の字体 | | | | | |
| 材料を整理して案内文を書く | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ●集めた材料を分類・整理して、伝えたいことを明確にする。 ●目的や意図を意識して、案内文を書く。 | 比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。 | 「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 | すすんで集めた情報を整理し、学習の見通しをもって案内文を書こうとしている。 |
| 持続可能な未来を創るために | 3 | 持続可能な社会の実現に向けて、自分の課題を発見する。 | 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 | 目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 | 粘り強く自分の考えを確かなものにするとともに、今までの学習を生かして本や資料をもとに考えを深めようとしている。 |
| 手紙を書く | 4 | 手紙の基本的な書き方を理解し、文字の大きさや配列に注意して書くことができる。 | 手紙の書式と、文字の大きさや配列を把握し、調和よく書くことを理解している。手紙の書式に従って、文字の大きさや配列を理解して、字形を整えて書いている。 | 用紙の形や書式を考えて、文字の大きさや配列を適切に捉えている。 | 日常生活で書かれる身近な文章について、形式を整えて書こうとしている。 |
| 全ては編集されている | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ●写真を見るとき観点を知り、写真の特徴を理解する。 ●写真の特徴を生かし、多様な活用の仕方について考える。 | 比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 | 目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 | 情報の扱い方についての理解を深め、目的に応じて適切に情報を読み取り、伝えたい情報を明確に表現しようとしている。 |
| 森には魔法つかいがある | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ●必要な情報に着目して、調べたり考えたりしながら読む。 ●問いとその答えを見つけていく展開を捉えて読む。 ●筆者の考えや述べ方を踏まえ、根拠を明確にししながら自分の表現で筆者の考えをまとめる。 | 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 | 文章の構成や展開、表現の効果(特に論理の構成)について、根拠を明確にして考えている。 | 粘り強く文章の論理の展開について考え、学習課題にそって文章を読んで考えたことをまとめようとしている。 |

| | | | | | |
|----------------------|---|---|---|--|---|
| 文法の小窓 | 3 | ●主語・述語・修飾語など、文の成分の役割について理解する。 | 文の成分の順序や照応など文の構成について理解を深めている。 | | すすんで文の構成に興味・関心を抱き、文の成分の種類とはたらきを理解して、文の構成について理解を深めようとしている。 |
| 漢字の広場3 | 1 | ●漢字の音と訓についての理解を深める。 | 学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されているうちの漢字を書き、文や文章の中で使っている。 | | 積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。 |
| 根拠を明確にして意見文を書く | 4 | ●意見と根拠の関係を理解する。 ●根拠をはっきりさせて、意見文を書く。 | 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 | 比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 | すすんで根拠が明確な文章になるように工夫し、学習課題にそって自分の考えたことを書こうとしている。 |
| 学習を生かして書く —行書の特徴— | 2 | 残されてきた文字や日常生活の文字から、行書とはどんな書体かを理解することができる。 | 残されてきた文字や日常生活の文字から、行書とはどんな書体かをよく理解している。 | 残されてきた文字や日常生活の文字から、行書とはどんな書体かを的確に捉えている。 | 残されてきた文字や日常生活の文字から、行書とはどんな書体かを意欲的に知ろうとしている。 |
| 広告の情報を考える | 2 | 広告を見るときの観点を知り、広告の特徴について理解する。 ●目的に応じて言葉と画像を組み合わせ、広告を作る。 | 比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 | 「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 | 積極的に関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、学習の見通しをもって伝えるべき事を整理して書こうとしている。 |
| 昔話と古典 | 1 | 古典にはさまざまな作品があることを知り、古典の仮名遣いにふれる。 | 音読に必要な文語のきまりを知り、古文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。 | 「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。 | 積極的に古典の世界に親しむとともに、学習の見通しをもって作品について考えたことを記録しようとしている。 |
| 物語の始まり | 5 | ●古典の仮名遣いに注意して音読し、物語の内容を捉える。 ●『竹取物語』について調べたり、話し合ったりして、そのおもしろさを理解する。 | 音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。 | 「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。 | 積極的に古典の世界に親しむとともに、学習の見通しをもって作品について考えたことを記録しようとしている。 |

| | | | | | |
|-------------------|---|--|--|--|---|
| 故事成語 | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ●いろいろな故事成語について調べたり、発表したりして、由来や意味を理解する。 ●漢文訓読のきまりを理解したり、音読したりして、文章の響きを味わう。 | 音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、漢文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。 | 「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。 | すすんで音読に必要な訓読の仕方を知り、学習の見通しをもって文章を読んで考えたことを伝え合おうとしている。 |
| 点画の連続と変化 2「栄光」 | 2 | 点画の連続を理解して書くことができる。 | 点画の連続の仕方を的確に捉えている。点画の連続の仕方を理解して、字形を整えて書いている。 | 点画の連続の筆使いから自己の課題を見つけ、その解決方法を考えている。 | 行書における学習課題を把握し、その解決に向けて意欲的に取り組んでいる。 |
| 蜘蛛の糸 | 4 | わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。 | 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。 | すすんで読書が考えを広げることに関与することを理解し、今までの学習を生かして小説を読んで考えたことを記録しようとしている。 | すすんで読書が考えを広げることに関与することを理解し、今までの学習を生かして小説を読んで考えたことを記録しようとしている。 |
| 河童と蛙 | 2 | 場面と描写を結びつけて読む。 | 事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 | すすんで表現の技法を理解するとともに、詩を読んで考えたことを伝えようとしている。 | すすんで表現の技法を理解するとともに、詩を読んで考えたことを伝えようとしている。 |
| オツベルと象 | 8 | <ul style="list-style-type: none"> ●語句の意味や擬声語・擬態語に注意し、その工夫や効果を理解する。 ●場面と描写に着目して作品を読み、内容を解釈する。 ●作品の構成や展開、表現の効果について根拠を明確にして考える。 | 音声のはたらきや仕組みについて、理解を深めている。 | 事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。 | 粘り強く表現の効果について根拠を明確して考えるとともに、小説を読んで考えたことを伝え合おうとしている。 |
| 点画の省略「平和」 | 2 | 点画の省略を理解して書くことができる。 | 点画の省略の仕方を的確に捉えている。点画の省略の仕方を理解して、字形を整えて書いている。 | 点画の省略の筆使いから自己の課題を見つけ、その解決方法を考えている。 | 行書における学習課題を把握し、その解決に向けて意欲的に取り組んでいる。 |

| | | | | | |
|----------|---|---|--|---|--|
| 随筆を書く | 5 | 身近に起きたことや経験したことをまとめて、叙述の仕方を考える。 | 事象や行為、心情を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 | 「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。 | 粘り強く叙述の仕方などを確かめ、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。 |
| 日本語の文字 | 1 | 日本語を書き表す文字の特徴を理解する。 | 仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。 | 学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。 | 積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。 |
| 子どもの権利 | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ●専門的な事柄などを表す語句の意味をおさえ、文章内容を捉える。 ●論理の構成や展開に着目して、筆者の主張を読む。 ●自分の経験と関連づけて読み、自分の考えをまとめる。 | 比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 | 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。 | 粘り強く自分の考えを確かなものにするともに、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。 |
| ◇書き初めを書く | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ○文字の大きさや字間、行の中心などを理解して、配列よく書くことができる。 ○行書の特徴や配列を理解して書くことができる。 | 筆使いや字形、文字の大きさなどを理解して、調和よく書くことを把握している。楷書と仮名の筆使いや字形を理解して、配列を整えて書いている。 行書の特徴や配列についてよく理解している。行書の特徴や行の中心を理解して、字形を整えて配列よく書いている。 | 紙面に対する楷書と仮名の調和のさせ方を考えている。 | 自己の課題解決に向けて、積極的に取り組んでいる。 自己の課題解決に向けて、積極的に取り組んでいる。 |
| 調べた内容を聞く | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ●自分の考えと比較し、その共通点や相違点を踏まえて、考えをまとめる。 ●相手の話を聞いて記録したり、質問したりしながら内容を捉える。 | 事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 | 「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 | 積極的に共通点や相違点を踏まえて考えをまとめ、学習の見通しをもって報告を聞いて質問しようとしている。 |

| | | | | | |
|-------------------|---|--|---|--|--|
| 漢字の広場4 | 1 | 熟語の構成の基本的な型を知る。 | 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 | | 積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。 |
| 言葉がたぐ世界遺産／地域から世界へ | 6 | ●事実と意見の関係、文章の構成や展開に注意して読み、筆者の考えを捉える。 ●筆者の考えについて、自分の考えをまとめ、理解を確かにする。 | 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 | 「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。 | すすんで理解したことに基づいて考えを確かなものにし、文章を読んで考えたことを記録しようとしている。 |
| 漫画で「物語」を表現する | 2 | ●漫画の表現の特徴について理解する。 ●漫画の中の絵と言葉との関係を捉え、読み手に対する効果を考える。 | 比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 | 目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結びつけたりして、内容を解釈している。 | 積極的に関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、学習の見通しをもって伝えるべきことを整理して書こうとしている。 |
| 読み手を意識して報告文を整える | 4 | ●要点を簡潔にまとめる。 ●読み手の立場に立って、文章を整える。 | 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 | 「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。 | 積極的に読み手の立場に立って叙述の仕方などを確かめるとともに、学習の見通しをもって自分の考えを書こうとしている。 |
| 文法の小窓 単語のいろいろ | 3 | 自立語と付属語、活用の有無などの、分類の基準について理解する | 単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。 | | すすんで単語の類別について理解を深め、今までの学習を生かして言葉を分けて考えることの大切さを理解しようとしている。 |
| 発言を結びつけて話し合う | 4 | ●話題を意識して話し合い、発言を結びつける。 ●いろいろな意見を整理し、自分たちの感想や考えをまとめる。 | 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 | 「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめている。 | すすんで互いの発言を結びつけて考えをまとめ、学習の見通しをもってそれぞれの立場から考えを伝えようとしている。 |

| | | | | | |
|-----------------|----------|---|---|--|--|
| <p>四季の詩</p> | <p>5</p> | <p>それぞれの詩の題材を捉え、描かれたイメージを想像する。</p> | <p>比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。</p> | <p>「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。C(1)イ【思考・判断・表現】「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。</p> | <p>すすんで描写をもとに捉えるとともに、今までの学習を生かして詩を創作しようとしている。</p> |
| <p>少年の日の思い出</p> | <p>8</p> | <p>語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意する。 ●場面の展開や登場人物の心情の変化を、描写に基づきながら捉える。 ●語り手に着目して作品を読み、意見を交流するなどして、自分の考えを確かなものにする。</p> | <p>事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> | <p>「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。</p> | <p>粘り強く登場人物の心情の変化などについて捉えるとともに、学習の見通しをもって小説を読んで考えたことを記録しようとしている。</p> |
| <p>方言と共通語</p> | <p>1</p> | <p>方言と共通語の特徴について知る。</p> | <p>共通語と方言の果たす役割について理解している。</p> | | <p>すすんで共通語と方言について調べ、学習の見通しをもって共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。</p> |